

みけの ごうがいやさん

小川未明

青空文庫

あかとらが、みけに であつて、

「その くびに つけた、ぴかぴかする ものは なんですか。」
と ききました。

「うちの ぼっちゃんが、つけて くれた すずです。」
と、みけが こたえました。

「どれ、あるいて ごらんなさい。」
みけが あるくと、カラカラ カラと すずが なりました。

「あつはは、ごうがいやさんみたいだ。」
と、あかとらが わらいました。

みけは はずかしく なりました。

「なんで こんな ものを、つけたのかなあ。」

みけは かんがえながら おうちへ かえると、ちようど ね
ずみが、まどの 上^{うえ}へ ちよろちよると のぼりました。

これを みつけた みけは 目^めを まるく しました。

ねずみは といを つたつて、えだに ついた 赤^{あか}い かきを
たべに きたのです。

「わるい やつだ。」

みけは へいに のぼりました。カラカラ カラと ずずが
なりました。

りこうな ねずみは、ねこの きたのを しると、かくれて
しまいました。

みけは、ざんねんで たまりません。夜^{よる}まで、じつと まどの
上^{うえ}で、ねずみの でののを まって いました。

コロコロ コロと、あちらで すずの 音^{おと}が します。

「おや、だれだろう。」

と、みけは 月^{つき}の ひかりで みますと、ねずみが きりの 木^き
へ のぼり、みを ゆすつて、ねこを からかったのです。

みけは あかとのら の うちへ いきました。

「あかとらさん、ねずみが ばかに するから、どうぞ この
すずを とつて ください。」

と たのみました。

あかとらは そうだろうと いわぬばかりに、

「ニヤオ。」

と
いって、
みけの
くびから
すずを
とって
やりました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 16」講談社

1978（昭和53）年2月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第5刷発行

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：Juki

2012年7月16日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>)

で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

みけの ごうがいやさん

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>